

職員構成

学 年		氏 名		学 年	氏 名
校 長		伊藤 紀幸		1	西野 智美
教 頭		飯田 厚		2	高橋 茉那
級 外	主幹教諭	堀井 雅志		3	岩切 慧
	教務	加藤 利彦		④	本間 真弥
	副教務	山口 均		1	大島 直子
	初任研拠点校 指導教員	菊地 亮司		②	霸巻 義和
	後補充	遠藤 牧子		3	磯部 絢子
	養護教諭	石田 美緒		4	稲田 真美
	事務	三浦 亜依		①	後藤 泰子
	教員業務支援員	熊倉 浩美		2	相場 青空
	学習指導	榎本 優子		3	横山 恵子
	栄養教諭	木村 裕子		4	長谷川智子
はまなす	司書	大島 芳子		1	廣川 詩織
	①	斉藤 里香		2	樋渡 言也
	2	倉嶋 菜月		③	遠藤 寛子
	3	中野あゆみ		4	内田 悠人
	支援員	須田 陽子		1	豊岡 篤
		斉藤 景子		2	石黒 里美
		山口めぐみ		3	松田 美樹
用務員		長崎 定夫		④	小池 大輔
地域教育 コーディネーター	津野 香		①	渡部 康司	
	坂井 文枝		2	金子 奈巳	
	ALT		Moran Martin		3

○は学年主任

児童数

(令和4年5月1日現在)

学 年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学 級 数		4	4	4	4	4	3	3	26
児童数	男	58人	49人	48人	64人	54人	46人	14人	333人
	女	50人	49人	64人	54人	54人	46人	7人	324人
	計	108人	98人	112人	118人	108人	92人	21人	657人

校時表

時刻	区分	時間 (分)	月	火	水	木	金	全校朝会時程 (午前40分授業)
8:15	学級朝会	10						学級朝会
8:25	朝学習	15	1・2年朝読書 3～6年国語	1・2年スキル 3～6年国語	学級活動 (フック物流口)	1・2年スキル 3～6年国語	1・2年スキル 3～6年国語	全校朝会 児童朝会
8:40	1校時	45						9:00 <40>
9:25		5						9:40
9:30	2校時	45						5
10:15	20分休み	20						9:45 <40>
10:35	3校時	45						10:25
11:20		5						20
11:25	4校時	45						10:45 <40>
12:10	給食	45						11:25
12:55	昼休み	30						5
13:25	清掃	15			5校時 13:25～ 14:10			11:30 <40>
13:40		5						12:10
13:45	5校時	45			学級終会 移動			
14:30		5			下校	学級終会 移動		
14:35	6校時	45	4～6年 (1～3年無し)	2～6年 (1年無し)		14:45 クラブ 委員会	3～6年 (1・2年無し)	
15:20	学級終会	10				15:30		
15:30								

★朝学習…15分×4 → 60分(授業 1 1/3)とし、授業として扱います。
水曜日朝の学級活動は、時数にカウントしない。

1年生:全て5校時 2年生:火曜日6校時 3年生:火・金曜日6校時 4年生:月・火・金曜日6校時、クラブのある木曜日は6校時
5・6年生:月・火・金曜日6校時、委員会・クラブのある木曜日は6校時

年間授業日数

前 期		後 期		合 計	
100日		101日		201日	
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
199日	199日	199日	199日	200日	200日

学校の沿革(概要)

昭和 30年	5月 1日	松浜小学校下山分校から独立開校
昭和 39年	5月22日	校歌制定
昭和 39年	6月16日	新潟地震で校舎倒壊
昭和 40年	4月20日	現在地に12,7407㎡の校地を確保
昭和 41年	3月31日	体育館並びに鉄筋校舎(第一期)竣工
昭和 42年	5月24日	校章制定
昭和 45年	12月19日	創立15周年、校舎竣工記念式典
昭和 47年	4月25日	体育館増築、プール完成
昭和 47年	10月 4日	第五種公認グラウンド完成
昭和 51年		創立20周年記念式典、全国道德教育研究会(中学年部会)開催
昭和 55年	11月 3日	リコーダー部県大会で最優秀賞受賞
昭和 56年	3月29日	リコーダー部全国大会で金賞受賞
昭和 57年	1月17日	東日本優秀演奏発表会でリコーダー部最優秀賞受賞
昭和 59年	7月18日	プール改築、竣工
昭和 60年	11月 9日	創立30周年記念式典、飼育舎改築、中庭整備等
昭和 62年	3月16日	校旗樹立、ビデオ放送施設完備
平成 元年	11月13日	統計グラフコンクール(教育長賞・統計協会総裁賞等受賞)
平成 2年	5月 1日	創立35周年記念式典、大型テレビ設置、体育館脇遊び場舗装

平成 2年	7月11日	交通安全県宣言記念県民大会、県知事賞受賞
平成 3年	11月 2日	東新潟少年野球大会優勝
平成 4年	11月10日	県器楽合奏大会、県教育長賞受賞
平成 7年	10月 1日	中庭池造成、飼育舎新築
平成 7年	11月18日	40周年記念式典、記念備品(LD・ビデオデッキ)
平成 7年	12月10日	ミニバスケット県大会女子の部優勝、全国大会出場
平成 10年	3月31日	いきいきスクール3年次終了、ステップアップ「4WD教育」発足
平成 13年	4月	新潟市学校給食推進校に指定される(～14年3月)
平成 15年	12月25日	給食優良校表彰
平成 16年	11月10日	給食文部科学大臣表彰
平成 17年		創立50周年記念事業(サッカーゴール、図書室整備)
平成 19年	4月	新潟市社会福祉協力校に指定される
平成 23年	10月	全面改築工事始まる
平成 25年	5月13日	校舎竣工、新校舎を祝う会
平成 26年	5月 1日	新グラウンド完成、新グラウンド完成を祝う会
平成 26年	6月21日	創立60周年・新校舎竣工記念式典
平成 29年		教科横断的な学習「空港のまち下山プラン」推進
令和 2年	1月22日	全国交通安全優良学校表彰

校区の概要

当校区は、江戸時代の新発田藩による阿賀野川掘削工事が行われるまでは、現松浜町(旧松ヶ崎)と地続きであり、ごく最近まで松浜町の町名が残っていた。昭和に入ってからも人家は少なく、学区は広い松林に覆われていた。40年代に入り、大規模な宅地造成が始められると、にわかに注目され、さしもの広大な砂丘地はみるみるうちに、整然とした明るい住宅街に変貌した。また、当校区内には国際空港である新潟空港があり、国内外の主要な都市を結ぶ航空路として、人的・物的な交流の拠点としての発展が期待されている。

保護者及び地域住民の教育に対する関心は高く、PTA活動も活発である。創立60周年を機に、新校舎・新グラウンドが完成した。新しい環境のもと、今後さらに学校、家庭、地域等が具体的に連携を図り、より一層児童生徒の健全育成を推進することが強く望まれている。

令和4年度
学校要覧



新潟市立下山小学校

〒950-0005 新潟市東区太平2丁目18番地
電話 025(273)-0069 025(273)-4260(FAX)
home page <http://www.shitayama-e.city-niigata.ed.jp/>
E-mail e207shitayama@city-niigata.ed.jp

下山小学校教育ビジョン2022

伸びる子 かしこくやさしくたくましく



かかわり
あつて

重点目標

みんなが楽しい学校

認め合い、
高め合う力の育成

対話を通して、考えを広げ深める子

友達を思いやり、互いに助け合う子

責任を果たし、めあてに向かってやり遂げる子



対話を通して、考えを広げ深める子

「総合生活」
空の町したやま
地域に誇りをもつ
下山チャレンジ
タイム
iPadの活用
協同の学び
ペアグループ学習
全体（練り上げ）

友達を思いやり、互いに助け合う子

異学年交流の活動
なかよし班活動
複数学年による活動
学級・学年の活動
運動会
ウキウキフェスティバル
マイピア・サポートプランの活用

責任を果たし、めあてに向かってやり遂げる子

生活目標の重点
あいさつ
清掃
廊下歩行
下山スタンダード
（学習生活習慣の確立・メディアとの付き合い方）
振り返りカードの活用

まなび プロジェクト

かかわり プロジェクト

くらし プロジェクト



ふれあい
スクール

地域と学校
パートナーシップ
事業



支持的風土の醸成 職員研修
児童理解 教育相談（児童・保護者）

学びを保障する特別支援教育
教職員の支援

ピア・サポート UDL GIGA PBIS SEL
小中一貫（自己有用感・レジリエンスの育成）



	まなび	かかわり	くらし	特別支援教育
重点目標	対話を通して、考えを広げ深める子	友達を思いやり、互いに助け合う子	責任を果たし、めあてに向かってやり遂げる子	一貫した支援を行うための校内体制の確立
達成目標	ア ペアや小グループ、全体でかかわると、勉強が分かったと答える児童が80%以上。 イ 授業で自分の考えを進んで伝えている児童が70%以上。	ア 学級や異学年間の活動で、相手の気持ちを考え助け合っている児童が85%以上。 イ 友達とかかわって活動することとても満足している児童が80%以上。（Aだけの割合）	ア 自分の仕事（清掃・委員会・係・当番）で、自分の役割をやり遂げている児童が80%以上。（Aだけの割合） イ 挨拶強調週間で、友達や先生、地域の方に自分から気持ちのよい挨拶をしている児童が85%以上。	ア 対象児童について、「個別の指導計画を作成し、それに基づいた支援を行い、目標を達成することができた」とする教職員が100%。 イ 教室前面・黒板の掲示物の精選と時間帯の掲示、教室環境の整備、指導法についての取組をしている教職員が100%。
方策（手だて）	ア「下山授業スタイル」（新たにICTの活用を含めた）を取り入れた授業を1日1回以上行う。	ア ピア・サポート活動を年3回以上実施し、自分にできるサポートに取り組ませる。 イ 昼休みに、なかよし班での遊びや学級での遊びを年8回実施する。	ア 前向きでよい行動を示すとともに、「Good Job」とよさ頑張り認める。 イ ①気持ちのよい挨拶ができるように、自己目標を設定して取り組む。 ②全校体制による挨拶運動を2回以上実施する。	ア 個別の指導計画の作成を進め、保護者との共有化を図り、支援について加除訂正しながら活用できるものにしていく。 イ UDLの視点で教室環境の整備や指導法について、全校体制で取り組むことを明確にし、実施する。